

第13期 貸借対照表(平成28年3月31日現在)

資 産 の 部		負 債 及 び 純 資 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	千円	(負債の部)	千円
<b>流動資産</b>	<b>2,413,498</b>	<b>流動負債</b>	<b>947,558</b>
現金預金	518,284	買掛金	240,281
売掛金	1,494,431	未払金	197,368
仕掛品	242,163	未払費用	126,341
前払費用	12,513	未払法人税等	76,386
繰延税金資産	130,135	預り金	9,937
未収入金	21,727	賞与引当金	296,829
短期保証金	3,218	受注損失引当金	413
貸倒引当金	△ 8,975	<b>固定負債</b>	<b>40,454</b>
<b>固定資産</b>	<b>308,690</b>	役員退職慰労引当金	40,454
<b>有形固定資産</b>	<b>212,684</b>	<b>負債合計</b>	<b>988,012</b>
建物	42,107	(純資産の部)	
備品	152,710	<b>株主資本</b>	<b>1,734,175</b>
建設仮勘定	17,866	<b>資本金</b>	<b>50,000</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>96,005</b>	<b>利益剰余金</b>	<b>1,684,175</b>
繰延税金資産	72,465	利益準備金	3,500
長期保証金	23,540	その他利益剰余金	1,680,675
		別途積立金	1,100,000
		繰越利益剰余金	580,675
		<b>純資産合計</b>	<b>1,734,175</b>
<b>資産合計</b>	<b>2,722,188</b>	<b>負債純資産合計</b>	<b>2,722,188</b>

重要な会計方針

- (1) 仕掛品の評価基準及び評価方法については、個別法による原価法により行っております。
- (2) 有形固定資産の減価償却の方法は、定率法により行っております。
- (3) 貸倒引当金は、法人税法の規定による限度相当額（法定繰入率）を計上しております。
- (4) 賞与引当金は、従業員に支給する賞与に備えるため、当期末に対応する支給見込額を計上しております。
- (5) 受注損失引当金は、受注契約に係る将来の損失に備えるため、当期末における受注契約のうち、合理的に見積もることのできる損失見込額を計上しております。
- (6) 役員退職慰労引当金は、役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づき計算した当期末における支給基準の100%相当額を計上しております。
- (7) 売上高の計上は、完成基準により行っております。
- (8) 消費税等の会計処理は、税抜方式により行っております。

第13期純利益(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで) 199,083千円